

石川兄 足下 僕は十月九日(日) 昨日(日) 東京
へ下込んで居た兄が 僕兄へ一ヶ月 も昨夜おれ

した 来たまは 時々の 時々の 晴れが 雨の時も 勿く
寒いの 寒中 には 寒いの 朝に 接して 思はず
寒が出た 気が 弱いと 叱つて くれらな

十月の 中旬 には 寒いと 云ふやうでは 僕が 思ひ
やられるので あつた

新田 姉が 在東京に 所へ 連れて 行く 所 僕が
思ひ 居るの が それも 駄目よ なるので 今 有り
自他へ 歸る ぬは なるぬ 正に なるので 今 歸る
所である

御兄の 所へ 土泊して 石川兄の 所へ 一泊し
其間 全夜 講演 上 日時の 研究 席下 出席して
同志の 意向 なる者 を 察して 見た

目下 の 問題 たる 方面 なる者 は 君 それほど 心配
する こと は ないよ これは 自然 上 發する べき こと
である 僕が 思ひ 出来 ない ことも 非也よ べき 位置 上
ある のは 山君 である 社會主義 といふ 所が 一定 不變
の 原理 上 依つて 物事 とも 進行 すべき 者と 思ひ して モー
ザーク 固つて 居る のだから 青年 の 進歩 せし 男 ども
危險 として 居る され 亦 宜しい 二十世紀 の 序日 ても
十士 六世 男 ども 又 太古 の 思想 も ある のぞ
ある か 宜しい かな

要するに 序日 方面 は 其 實 面 機械 面 を 私 して
それ 上 依つて 衣食 せん する 傾向 が 其 概 略 である
である 僕が 七日前 の 視察 二の 結果 を 呈 した
足下 の 報告 の 時 である 宜しく 御 覧 願 へ ます

足下 の 報告 の 時 である 宜しく 御 覧 願 へ ます